第Ⅰ部　中華民国（台湾）の国情

（資料作成者注；特記しない限り、外務省地域：台湾（Taiwan）、基礎データ、令和 6 年（2024 年）3 月 4 日版による。）

○領域

○一般事情

1　面積

3 万 6 千平方キロメートル（九州よりやや小さい。）

2　人口

約 2,342 万人（2024 年 1 月）（日本の 2023 年の人口 12,447 万人の約 18.8%）

3　主要都市

台北、台中、高雄

4　言語

中国語、台湾語、客家語等

5　宗教

仏教、道教、キリスト教

6　略史

年月　　略史

1949年12月7日　　台北に「臨時首都」を遷都

1971年10月25日　　国連を脱退

1975年4月5日 蒋介石総統死去

1987年7月15日　　戒厳令解除

1988年1月13日　　蒋経国総統死去、李登輝副総統が総統に就任

1996年3月23日　　初の総統直接選挙で李登輝が当選

2000年3月18日　　民進党の陳水扁が総統に当選

2004年3月20日　　陳水扁が総統に再選

2008年3月22日　　国民党の馬英九が総統に当選

2012年1月14日　　馬英九が総統に再選

2016年1月16日　　民進党の蔡英文が総統に当選

2020年1月11日　　蔡英文が総統に再選

2024年1月13日　　民進党の頼清徳が総統に当選

〇政治体制

1　政体

三民主義（民族独立、民権伸長、民生安定）に基づく民主共和制。五権分立（行政、立法、監察、司法、考試）

2　総統

蔡英文（副総統：頼清徳）

3　議会

立法院長：韓國瑜

4　行政機構

行政院長：陳建仁、副院長：鄭文燦

5　内政

1987 年 7 月の戒厳令解除後、政治の自由化と民主化を急速に推進。1996 年 3 月には初の総統直接選挙を実施。2000 年の総統選では民進党の陳水扁が当選して、二期 8 年間民進党政権となったが、2008 年の総統選では国民党の馬英九が当選し、二期 8 年間国民党政権が続いた。

2020 年 1 月の総統選では、民進党の蔡英文が、国民党の韓国瑜及び親民党の宋楚瑜を退けて再選し、同日行われた立法委員選挙では、民進党が単独過半数を維持した。

2020 年 5 月 20 日の総統就任式において、蔡英文総統は、新型コロナ対策に対する協力に感謝しつつ、今年 1 月以降、台湾は（1）民主選挙及び（2）新型コロナ対策の成果で国際社会を驚かせたと強調し、国際社会に対して無私の援助を展開し、高い評価を受けたと言及。また、今後 4 年の方向性として、(1) 産業発展、(2) 社会の安定、(3) 安全保障、(4) 民主の深化を提示。

2024 年 1 月の総統選挙では、民進党の頼清徳が、国民党の侯友宜及び民衆党の柯文哲を退けて当選した。同日行われた立法委員選挙では、国民党が 52 議席、民進党が 51 議席、民衆党が 8 議席を獲得したが、いずれの政党も単独過半数には至らなかった。

○対外関係

1　外交関係のある国（計 12 か国）

○大洋州（3 か国）

ツバル、マーシャル諸島共和国、パラオ共和国

○欧州（1 か国）

バチカン

○中南米・カリブ（7か国）

グアテマラ、パラグアイ、ハイチ、ベリーズ、セントビンセント、セントクリストファー・ネーヴィス、セントルシア

○アフリカ（1か国）

エスワティニ

2　軍事力

（1）予算　約4,151億台湾ドル（2023年度、台湾国防部発表）

（2）兵力　約17万人（『ミリタリーバランス2024』等による）

○経済

1　名目GDP

7,608 億米ドル（2022年、台湾行政院主計處）（日本の2023年のGDP:42,130億米ドルの約18.1%）

2　一人当たりの名目GDP

32,625米ドル（2022年、台湾行政院主計処）（日本の2023年の一人当たりGDP:33800米ドルの訳96.5%）

3　主要産業（製造業）

電子部品、化学品、鉄鋼金属、機械

4　実質経済成長率

1.42%（2023年、台湾行政院主計処）（日本の2023年の実質GDP成長率は、1.9%）

5　消費者物価上昇率

2.49%（2023年通年平均値、台湾行政院主計処）（日本の2023年の消費者物価は、3.2%の上昇）

6　失業率

3.48%（2023年通年平均値、台湾行政院主計処）（日本の2023年の失業率は、2.6%）

7　外貨準備高

5,706 億米ドル（2023 年末、台湾中央銀行）

8　貿易総額

7,838 億米ドル（2023 年、台湾財政部統計処）

（輸出額：4,324、輸入額：3,514、収支：＋809）

9　主要貿易相手先

（1）輸出（2023 年、台湾経済部国際貿易局）：中国、米国、香港、日本、シンガポール

（2）輸入（2023 年、台湾経済部国際貿易局）：中国、日本、米国、韓国、オーストラリア

10　主要貿易品目

（1）輸出：電子部品、情報通信機器、金属製品、機械、プラスチック・ゴム

（2）輸入：電子部品、鉱物資源、機械、化学品、情報通信機器

11　通貨

新台湾ドル（2023 年末時点、台湾中央銀行）

1 米ドル＝30.73 新台湾ドル

12　対外投資

266.1 億米ドル（2023 年、台湾経済部投資審議委員会）

（対大陸投資を含む）

○日台関係

1　基本的枠組み

台湾との関係は 1972 年の日中共同声明にあるとおりであり、非政府間の実務関係として維持されている。

2　経済関係

（1）対台貿易（2023 年、財政部統計処）

（ア）貿易額

輸出　443.3 億ドル

輸入　314.4 億ドル

（イ）主要品目

輸出　機械・電子部品、基本金属・製品、プラスチック・ゴム、化学品

輸入　電子部品、一般機器、化学品、金属・金属製品、光学・精密機器

（2）日本からの直接投資

6.2 億米ドル（2023 年、台湾経済部投資審議委員会）

3　人的往来（2023 年）

（1）日本からの訪台者数約 93 万人（台湾交通部観光局）

（2）台湾からの訪日者数約 420 万人（JNTO）

4　在留邦人数

21,102 人（2023 年 10 月現在、外務省「海外在留邦人数調査統計」）

5　日台関係民間団体（窓口機関）

（1）日本側：公益財団法人日本台湾交流協会（東京本部、台北・高雄事務所）

（2）台湾側：台湾日本関係協会（台北本部、東京・大阪事務所、札幌・横浜・福岡・那覇支所）